

仙台ふるさとの杜再生プロジェクトは、東日本大震災により被害を受けた
仙台東部地域のみどりを、市民の手で再生していくプロジェクトです。
「杜の都」のみどりの復興を目指して、一緒に杜づくりをしませんか？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2025年度の育樹会が始まります！

5月、6月、9月、10月に育樹会を開催します。植樹した苗木の手入れを行います。あわせて生きもの観察や仙台東部地域に親しんでもらうためのミニイベントを開催します。

⑥初回は5/17(土) 9時00分～12 時00分 海岸防災林 岡田砂原にて開催！

⑥事前申込は不要です。ご都合の良い時間にご参加ください。

⑥ミニイベント(生きもの観察)は当日9時より現地で受付します(定員 15 名)。

⑥詳しくは上記 QR コード、本プロジェクトホームページよりご確認ください。



第3期海岸防災林育樹サポーター養成講座が修了、第4期受付開始！

仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議では令和4年度から「海岸防災林育樹サポーター養成講座」を開講し、海岸公園や海岸防災林に市民が植えた樹木を大きく育てるための知識や技術、海岸防災林の役割、仙台東部地域の自然環境について学ぶ機会を設けています。

2024年4月に開講し、各回の講座では連絡会議会員や東北学院大学の平吹教授が講師となり、受講生は杜づくりに必要な知識や仙台東部地域の自然や歴史を学び、最終講座では剪定体験を行い、修了証を受け取りました。

今回受講した市民 9 名のうち 7 名がサポーターとして登録され、今後も育樹会や苗木づくりをはじめ、海岸防災林の育樹活動を一緒に行います。

第4期は2025年5月17日(土)に開講します！受講を希望される方は、4月13日(日)までに海岸公園センターハウスまでお申し込み下さい。
詳しくは 上記 QR コード、本プロジェクトホームページよりご確認ください。



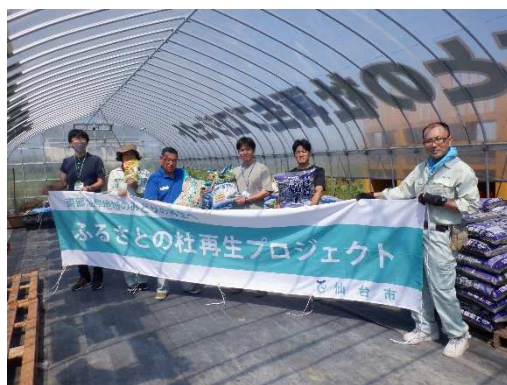
アイリスオーヤマ(株)様より、活動に必要な物品の寄贈をいただきました

仙台市と包括連携協定を結んでいるアイリスオーヤマ株式会社様より、9月に本プロジェクトの活動に必要な物品の寄贈をいただきました。

今回いただいたのは、育樹会や小学校の育樹体験に必要な草刈り機、工業扇風機、ファン付きクールウェア、ポータブル電源、苗木づくりに必要な培養土や肥料などです。

アイリスオーヤマ株式会社様、ご寄贈いただきありがとうございます。

寄贈いただいた物品は仙台ふるさとの杜再生プロジェクトの育樹活動や苗木づくり、子どもたちの環境学習のため大切に活用してまいります。



フェリシモ基金事務局様からご寄附をいただきました

フェリシモ基金事務局様より、東北花咲かお母さんプロジェクト基金として本プロジェクトへご寄附をいただきました。いただいた寄附金は、植樹に必要な土代や苗木代、植えた苗木の維持管理費、案内看板設置費用として大切に活用させていただきます。

10月19日には、地元のお母さん達やフェリシモ基金事務局、株式会社キカクラボ(元フェリシモ社員、基金創設者)の皆さま11名と一緒に植樹を行いました。植えたのは、実のなるシラカシやクリ、花を楽しめるサクラなど10種類の広葉樹100本です。季節外れの暑さでしたが、皆さま一生懸命植えてくださいました。

今後も基金を活用し、地元の方々をはじめ、プロジェクトに関わる方々と一緒に、植えた苗木が元気に育つよう育樹作業を続けていきます。



ヨシ刈り体験・配布会 & 2024活動報告会を開催しました

仙台ふるさとの杜再生プロジェクト荒浜圃場には、東日本大震災で発生した津波の洗堀により湿地帯となったことで生まれたヨシ原があります。ヨシ原には多様な生きものが命を育む場所となっていることから、環境学習の場として保全活動を行っています。2月22日に保全活動の一環として、本プロジェクトの活動報告会に併せて、ヨシ刈り体験・配布会を行いました。株式会社エコリスの合田氏を講師に迎え、なぜヨシ刈りをするのかレクチャーをいただいた後、鎌を使ってヨシを刈りました。刈り取ったヨシは、クラフトに使う、堆肥にするなど、様々な使い道があるようで、持って帰られる方も多くいました。

今後もヨシ原の保全を継続していくため、市民の皆さまと一緒に取り組むイベントを開催する予定です。



Facebook・LINEにて
発信中！



■仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議事務局

●特定非営利活動法人都市デザインワークス

TEL:022-264-2405

mail:info@udworks.net

●仙台市百年の杜推進課

TEL:022-214-8392

mail:ken010242@city.sendai.jp